

---

# 空飛ぶクルマの社会実装に向けた検討状況について

2024年12月17日（火）

大阪ラウンド・テーブル@大阪産業創造館

The logo for Soracte, featuring a large, stylized red 'S' followed by the word 'oracte' in a red, cursive script font. A horizontal line is positioned below the logo.

Soracte

---

# Agenda

1. 株式会社Soracleの設立
2. Soracleの取り組み
  - ①大阪・関西万博での空飛ぶクルマ運航事業
  - ②万博後の事業展開について

# 1. 株式会社Soracleの設立



- ✓ 空飛ぶクルマの特性を活かした新しい社会インフラを構築、既存輸送モードでは対応できない社会課題解決を図り、経済的価値創造へ
- ✓ 新しい空の移動価値の創造を実現したいJALと住友商事の思いが一致。新たに**共同事業会社Soracleを設立**し、その実現を目指す



## Soracleの目指すべき姿 (ミッション・ビジョン)

地球に優しく、より身近な新しい空の移動価値を創造し、社会と人々の暮らしを豊かにします。

## 社名に込めた思い

- 従来の航空事業モデルとは異なり、お客様が空港に行くのではなく、空からお客様の身近な場所に来る世界の実現  
→ 場所の制限を減らし、空の移動を身近なものに変える。
- 新たな技術(空飛ぶクルマ)により、空の移動に奇跡を起こす。

空飛ぶクルマで空にミラクルを起こし、空がお客様のもとにやってくる



## Soracleが大切にしている価値観 (行動指針)

Safety

安全

安全は経営の基盤であり、社会への責務です。  
常に安全を優先して行動します。

Harmony

調和

地球・社会・仲間との調和を図り、  
徹底的に議論して一致して行動します。

Frontier Spirit

挑戦

新しい市場を切り拓き、  
変わりゆく世界へ挑戦し続けます。

[Soracle \(soraclecorp.com\)](https://soraclecorp.com)

## 2. Soracleの取り組み（空飛ぶクルマ運航事業の展望）

Phase 1  
2025-26

### ● 準備・市場参入期

**2025年万博期間中に有人試験飛行を実現**し、eVTOLへの社会受容性向上を図る  
機体TC/**AOC取得**後、eVTOL運航先駆者となって社会的価値創造とアーリーアダプター取込みを図る

Phase 2  
2027-29

### ● 市場形成期

Phase 1路線を機軸に**地域ネットワークモデルを形成**する  
デベロッパー・自治体等と連携し、需要の高い地点で**既存ヘリポートに加えVertiport路線開発**を図る

Phase 3  
2029-30

### ● 市場成長期

地域特性に応じた機体を活用し、**地域ネットワークモデルの拡充**  
**無操縦者航空機**の解禁に伴い、乗員不足解消・収益力強化

Phase 4  
2031-

### ● 更なる拡大

地域ネットワークモデルの更なる拡充、無操縦者航空機による**無人大市内エアタクシーの実現**  
住友商事・JALの強みを生かした**海外展開**

## 2. Soracleの取り組み ①大阪・関西万博での空飛ぶクルマ運航事業

Phase 1

2025-26

### ● 準備・市場参入期

**2025年万博期間中に有人試験飛行を実現**し、eVTOLへの社会受容性向上を図る

機体TC/**AOC取得**後、eVTOL運航先駆者となって社会的価値創造とアーリーアダプター取込みを図る

Phase 2

2027-29

### ● 市場形成期

Phase 1路線を機軸に**地域ネットワークモデルを形成**する

デベロッパー・自治体等と連携し、需要の高い地点で既存ヘリポートに加えVertiport路線開発を図る

Phase 3

2029-30

### ● 市場成長期

地域特性に応じた機体を活用し、**地域ネットワークモデルの拡充**

**無操縦者航空機**の解禁に伴い、乗員不足解消・収益力強化

Phase 4

2031-

### ● 更なる拡大

地域ネットワークモデルの更なる拡充、**無操縦者航空機による無人都市内エアタクシーの実現**

住友商事・JALの強みを生かした**海外展開**

## 2. Soracleの取り組み ①大阪・関西万博での空飛ぶクルマ運航事業

### Soracle、JALから大阪・関西万博 「空飛ぶクルマ」運航事業を承継

～Archer社eVTOL “Midnight”にて大阪・関西万博  
デモンストレーション運航を実施～

Soracleは、大阪・関西万博における未来社会ショーケース事業「スマートモビリティ万博 空飛ぶクルマ」の協賛契約を締結し、JALから運航事業を承継しました。

これを受けて、SoracleはArcher社と大阪・関西万博における「空飛ぶクルマ」デモンストレーション運航プログラムに合意しました。

Soracleは大阪・関西万博「空飛ぶクルマ」運航事業を契機に、eVTOLの社会実装の早期実現に向けた準備を加速し、地球に優しく、より身近で新たな空の移動価値の創造を目指します。



#### 【大阪・関西万博「空飛ぶクルマ」運航事業概要(予定)】

- 運航形態：有人飛行 デモンストレーション運航
- 運航地点：大阪・関西万博会場及び大阪ヘリポート
- 使用機材：Archer社が設計・開発するeVTOL “Midnight”

## 2. Soracleの取り組み ②万博後の事業展開について



Phase 1

2025-26

### ●準備・市場参入期

2025年万博期間中に**有人試験飛行を実現**し、eVTOLへの社会受容性向上を図る

機体TC/AOC取得後、eVTOL運航先駆者となって社会的価値創造とアーリーアダプター取込みを図る

Phase 2

2027-29

### ●市場形成期

Phase 1路線を機軸に**地域ネットワークモデルを形成**する

デベロッパー・自治体等と連携し、需要の高い地点で**既存ヘリポートに加えVertiport路線開発**を図る

Phase 3

2029-30

### ●市場成長期

地域特性に応じた機体を活用し、**地域ネットワークモデルの拡充**

**無操縦者航空機**の解禁に伴い、乗員不足解消・収益力強化

Phase 4

2031-

### ●更なる拡大

地域ネットワークモデルの更なる拡充、無操縦者航空機による**無人都市内エアタクシーの実現**

住友商事・JALの強みを生かした**海外展開**

## 2. Soracleの取り組み ②万博後の事業展開について | 地域ネットワーク構築（関西地域）

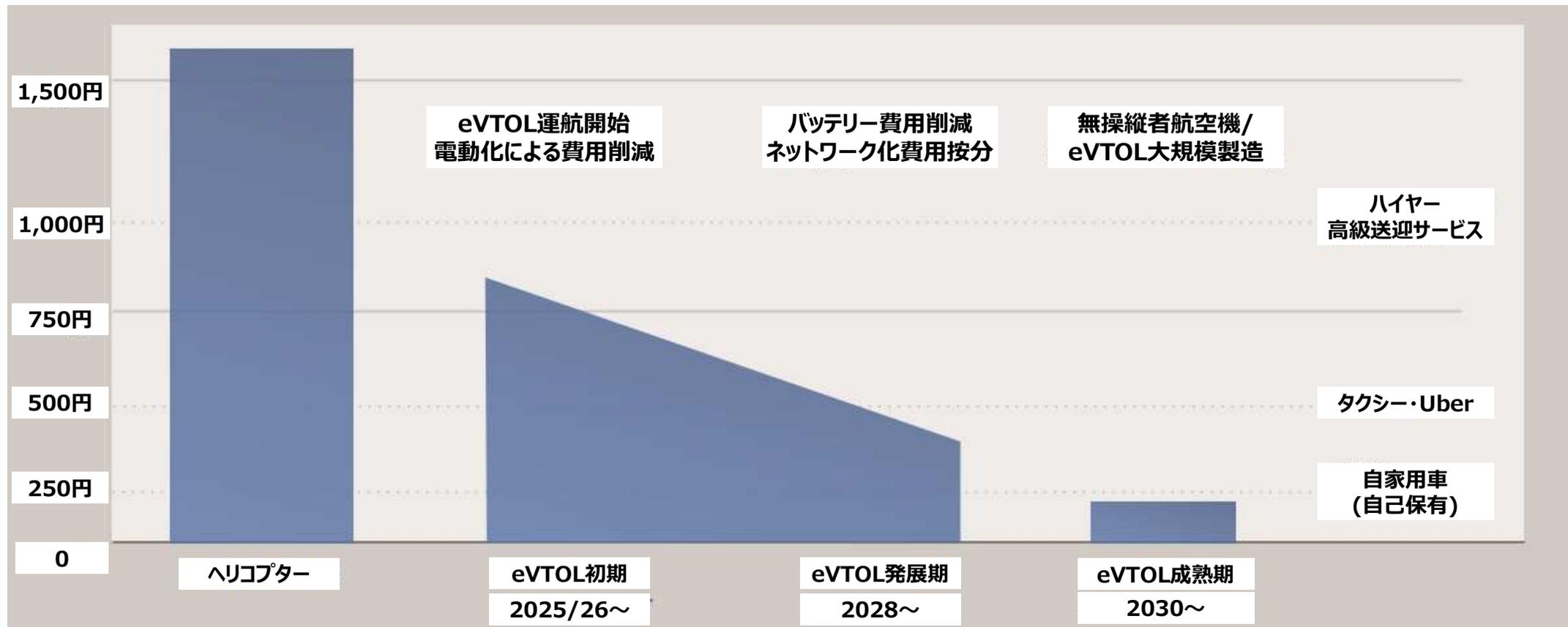
### 空港⇔都市部・観光地のエアタクシー・ネットワーク構築モデル(例)

- ルート案
  - ・ 関西国際空港 ⇔ 大阪市内・関西圏観光地
- Soracle目線での関西圏への就航理由
  - ・ 関空はトラフィックが多い混雑空港であり、一定量の需要が見込める
  - ・ 大阪市中心部から距離があり、陸路での移動に時間を要する環境（**ペインの解消**）
  - ・ 観光客のみならず、ビジネス層の利用も見込めることから、移動時間を短縮し目的地での滞在時間を延ばす**時間価値提供**
  - ・ 観光デスティネーションとしての**更なる魅力度向上**
  - ・ 災害発生時など、緊急性の高いミッション（**医療搬送など**）を補完することによる**地域貢献**
  - ・ JAL/JTAとの接続、住友グループ各社との連携などによる**グループシナジー活用**
- 顧客ペルソナ
  - ・ **インバウンド顧客**（例：USJ年間来訪者数 1,600万人/年（2023年世界3位、含むインバウンド）、2024年の訪日・来阪者数は1,400万人を見込む）
  - ・ **関西圏の観光地周遊ツアーリスト**
  - ・ JAL・JALパック利用者・大型客船利用客
- 提携企業(例)
  - ・ **ホテル事業者様**
  - ・ **テーマパーク運営会社様**
  - ・ **大型客船運航会社様**（港に来航するクルージング旅客は日帰り旅行ニーズ有）
  - ・ **旅行代理店様** など
- 今後の要調査事項
  - ・ 搭乗者想定人数の深堀(例：空港間は移動統計から最新の利用人数を把握可能)
  - ・ 施設・設備候補地の検討・企業ヒアリング・ポート使用可否・ルート上の空域

### 3. Soracleの取り組み ②万博後の事業展開について | 運賃イメージ

- ✓ 運航初期はハイヤーとタクシーの中間(キロ当たり800~1,000円)を想定するが、タクシー並み運賃を目指す。
- ✓ 無操縦者航空機の技術革新・規制適合により、タクシー以下運賃となる可能性。
  - 多くの人々が、安価で使いやすいモビリティを実現し、**空の移動を身近なものに変える。**

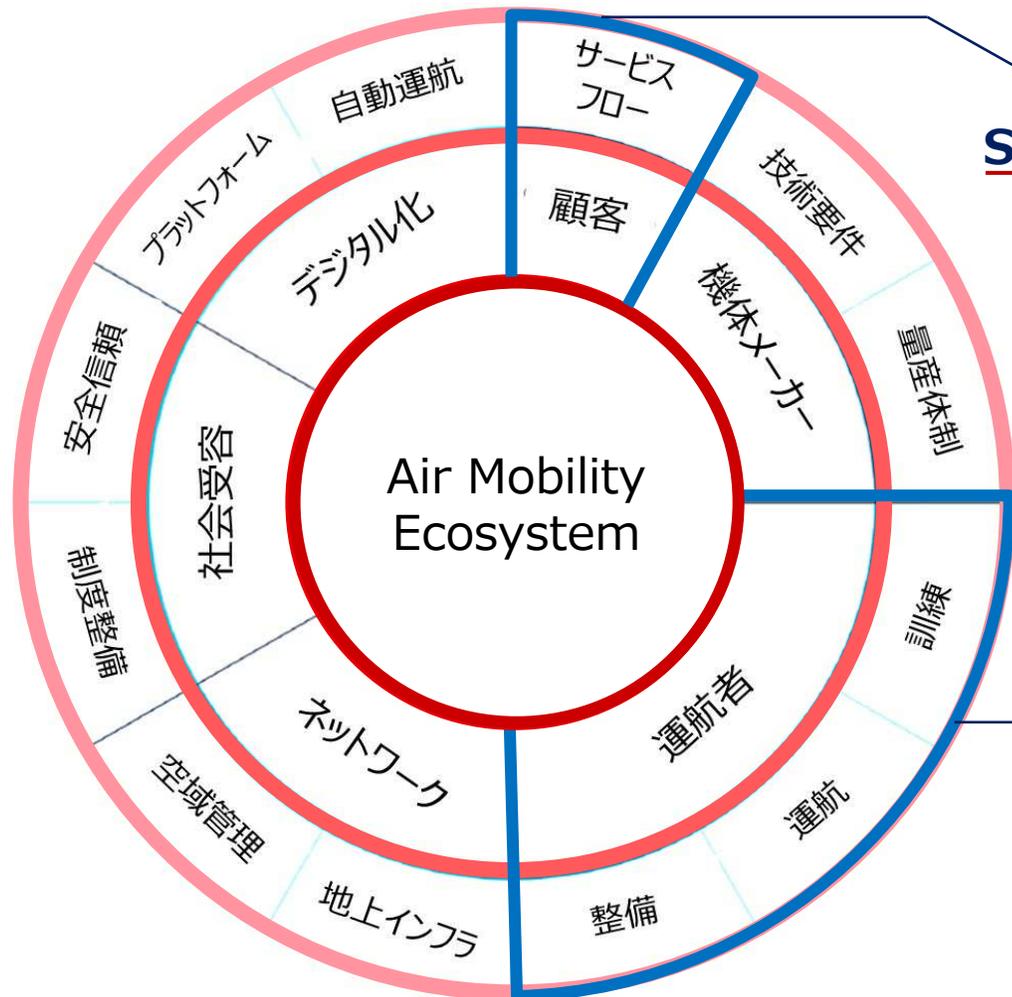
#### 運航関連費用の削減イメージ(日本円/km/人)



### 3. Soracleの取り組み ②万博後の事業展開について | エコシステムの形成

- Vポートや充電設備といった地上インフラが定着していない社会実装の初期フェーズにおいては、様々な知見を持ち寄り、それぞれの強味を活かした**エコシステムの形成が必要不可欠**
- 特に事業化の最初の一手を打つに当たっては、**地場の産業の皆様との協力が何よりの強味**

◆ **大阪府を含む自治体様との協力に加え、地元において空飛ぶクルマ事業への参入を目指す事業者様との連携を強化し、関西圏におけるエコシステム形成を進めたい**



**Soracleが強みを持つエリア**

ご聴講の事業者様へ

新たなビジネスチャンスとして空飛ぶクルマ事業に興味のある関西圏の事業者様、是非、我々Soracleにお声かけください！